

土壌DX : Deep-Techと3E-Valueが創る持続可能で稼げる農業

● **概要** 本プランは「**健康な土**」を基盤とする**持続可能な農業の推進**を目的とし、①土壌微生物、②デジタル技術、③バイオスティミュラントを融合したDeep-Techに加え、作物の価値を高める3E-Valueモデルを統合し、消費者の共感を生む新たなビジネスモデルを創出する土壌DX基盤を構築する点に独自性がある。これらにより有機農業が抱える「生産効率の低さ」「栽培管理の不確実性」という本質的課題に挑み、**持続可能で稼げる農業**を実現する。

● Deep Tech (独自の技術)



[1] 発電菌の代謝による電気信号が土壌健全性をリアルタイムに評価する指標となり得る [Christina, 2024]

[2] 外部電源を用いた電気刺激 (0.5V印加) のON/OFF制御で大麦の成長が平均1.5倍に向上 [Vasileios, 2023]

● 3E Value (独自のビジネスモデル)

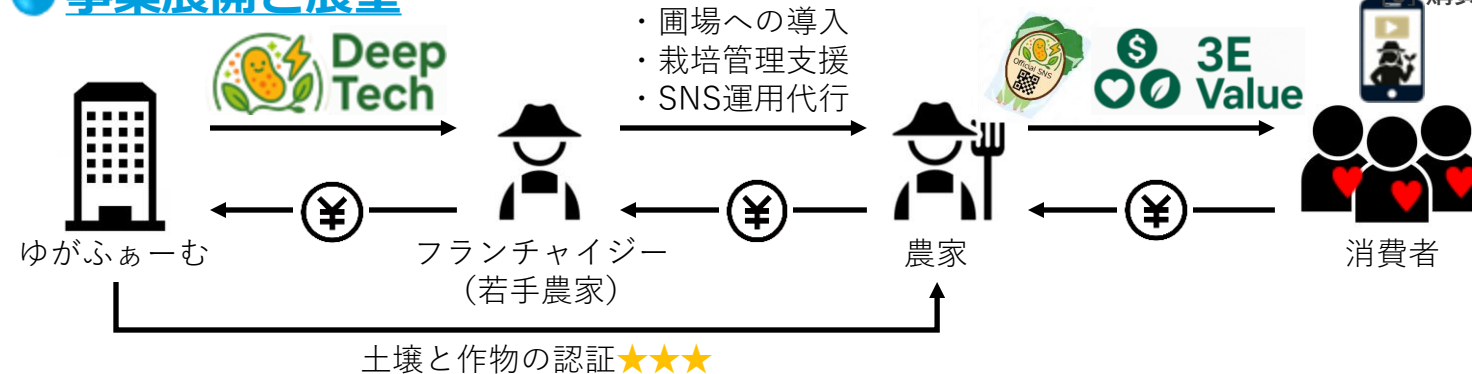


[3] 消費者調査で「持続可能に生産された商品なら平均9.7%上乗せして支払う」と報告されている [PwC, 2024]

[4] 価格プレミアムの成立には『環境ラベル』だけでなく情報開示や品質保証が重要 [Zhao, 2022]

[5] 購買決定の約95%が感情♥や潜在意識によって決まる [Zaltman, 2003]

● 事業展開と展望



土壌DX (Deep Tech × 3E Value)

これまで断片的に扱われていた技術を学際的視点から再構築し、『健康な土』の科学的原理を切り拓くことで、ビジネスモデルの革新と新たな価値創出を実現➡ 土壌DXで競争力を高めながら農家と共に成長する持続可能な農業を目指す！